

IMDS入門：担当者が知っておくべき要点

(一社)日本自動車部品工業会 製品環境部会
IMDS渉外対応分科会・物質調査システム分科会

<用語集>

	用語	意味
1	IMDS	「International Material Data System」の略。自動車業界で使用される材料データ管理システム。世界中の自動車メーカーやサプライヤーが、部品や製品に含まれる材料情報を登録・共有するために利用する。
2	DXC	IMDSの運営・管理を担当しているDXC Technology社を指す。IMDSのシステム開発・保守、ユーザーサポート、規制対応の更新などを行う。
3	カンパニーアドミニストレーター	自社のユーザー登録や企業アカウントの管理権限を持つ責任者。IMDSを利用する企業は必ず1名以上のカンパニーアドミニストレーターを設定する必要がある、ユーザー管理登録や権限設定を担当する。
4	コンタクトパーソン	自社のデータシートについて法的な責任を負う責任者。IMDSを利用する企業は必ず1名以上、コンタクトパーソンを設定する必要がある。 コンタクトパーソンの情報は他社に送信したデータシートにも表示され、他社からの問い合わせに関する窓口としての役割も持つ。
5	ユーザー	企業アカウントに登録され、IMDSを操作できる個人。カンパニーアドミニストレーターによって作成・管理され、権限に応じてシステム内で様々な操作を行う。
6	データシート	正式名称はMDS (Material Data Sheet)。部品や材料、含有物質に関する情報をツリー状(ノード構造)で表したデータ。
7	デフォルトコンタクト	企業アカウントで標準的な連絡先として設定される担当者。データシート送信や承認に関するやり取りで、特にコンタクトパーソンの指定がない場合に表示される連絡先。
8	コンポーネント	データシートにおいて、完成品を表すノード。製品を構成する部品やサブアセンブリを表現するために使用される。
9	セミコンポーネント	データシートにおいて、部品と材料の中間的な要素を表すノード。複数の材料が混合されて一体化した状態(例：塗料、接着剤、コーティングなど)を表現するために使用される。
10	材料	データシートにおいて、基本的な物質の集合体を指すノード。部品や製品の構成単位として使用される。
11	モジュール	複数のコンポーネントやセミコンポーネントをまとめた構成単位。特定の機能を持つ部品群をひとまとめたものであり、自社企業内でのみ使用される。
12	社内送信	自社内でデータシートを共有・承認する際に利用する機能。この状態では、まだデータシートは顧客には送信されていない。
13	全送信	作成したデータシートを指定した顧客宛てに送信する操作。社内送信後に全送信することが可能になる。
14	転送	サプライヤーから受信したデータシートをそのまま変更せずに顧客へ送信する機能。製品の製造は行っていないが、データシートの提供は行っている流通業者などが使用する。
15	データシートレポート	作成または受信したデータシートの内容をpdf形式で出力する機能。
16	Where-Used分析	特定の材料や物質がどの部品やデータシートで使用されているかを検索・確認する機能。法規対応のための含有物質調査や材料変更の影響範囲確認など様々な活用が可能。
17	トラストユーザー	自社から送ったデータシートに含まれる全ての化学物質(「機密扱い」の化学物質を含む)情報を見ることができる他社のユーザー。他社のユーザー向けに設定できる例外的な権限。
18	化学物質	データシートにおいて、材料を構成する最小単位の成分。すべての材料は、複数の化学物質で構成されており、これらのデータにより法規制対応や環境評価が可能になる。
19	疑似物質	化学物質もしくは化学物質グループとしての定義はあるが、CAS RNを持たない物質。 例：「アクリル樹脂(Acrylic resin)」「コットンファイバー(Cotton-fibre)」
20	ジョーカー・ワイルドカード	レコメンデーションの範囲内において、特定の化学物質や成分を非開示としてデータシートに組み込むための機能。材料中に最大10%まで認められる。
21	マルチソース	同じ部品(コンポーネント)を複数の異なるサプライヤーから調達している場合に、それらの構成データを1つのデータシート内で管理できる機能。

	用語	意味
22	IMDSコミッティー材料	IMDSにあらかじめ登録されている業界共通の基本材料。
23	材料分類	IMDSにて材料を種類ごとに分類するための標準コード体系。VDA材料分類に基づいて設定されている。
24	ID/バージョン	データシートを識別し履歴管理を行うためにシステムで付与される情報。IMDSでは、すべてのデータシートに固有のIDが付与され、修正や更新が行われるたびにバージョン番号が変更される。
25	ノードID	データシートを一意に特定するためにシステムで付与される番号。データシートを更新した際はバージョンのみが繰り上がりIDは変わらないが、ノードIDは新たに設定される。
26	エラー	データシート入力内容がIMDSのルールや必須条件に違反している状態を示すメッセージ。エラーがある状態では送信できない。
27	警告	データシートの入力内容に注意が必要な状態を示すメッセージ。エラーとは異なり送信は可能だが、顧客によっては修正を求められ可能性がある。
28	プロセスケミカル	製品の最終構成要素として残らないが、製造工程で使用される化学物質や混合物。
29	メカニカルリサイクル	使用済み製品や廃材を機械的な方法で再加工し、再び材料として利用するリサイクル手法。廃プラスチックや金属などを粉碎・洗浄・溶融・再成形して再利用するプロセスを指す。
30	ケミカルリサイクル	使用済み製品や廃材を化学的な方法で分解し、原料レベルに戻して再利用するリサイクル手法。ポリマーや複合材料を化学的に分解し、モノマーや基本化学物質に戻すプロセスを指す。
31	バイオベース材料	再生可能な生物資源（植物、微生物など）を原料として製造された材料。
32	アプリケーションコード	特定の禁止物質を含有している際に、その用途が免除要件に該当することを示すコード。欧州ELV指令などに準拠していることを示すために用いる。
33	組織	自社アカウント内で企業情報を分割して管理するための単位。拠点や工場別に管理が必要な場合に用いる。
34	レコメンデーション	IMDSステアリングコミッティーが公開している、データシートの作成方法に関する推奨事項。特にレコメンデーション001には、すべてのデータシートに適用される事項が記載されている。
35	ケミストリーマネージャー	REACH Annex XIV、バイオサイド製品規則(BPR)、中鎖塩素化パラフィン(MCCP)などの情報をサプライチェーン内で迅速に伝達するための機能。通常のデータシート送信・承認に影響しない独自のプロセスで処理される。
36	カーボンフットプリント(PCF)	製品のライフサイクル全体で排出される温室効果ガス(CO ₂ 換算)の総量を評価する指標。原材料調達から製造、輸送、使用、廃棄までの各段階で発生するCO ₂ 排出量を算定し、環境負荷を定量化する。
37	CAMDS	中国自動車業界向けの材料データ管理・申告システム。
38	IMDS Connect	IMDSと外部システムを連携させるためのインターフェースサービス。別途費用が必要。社内システムからIMDSへのデータアップロードや、IMDSのデータを社内システムに取り込むことなどができる。